

学位論文審査の結果の要旨

Fawzia Novianti

本研究は、菌類や細菌類の感染を抑制することが知られている植物免疫活性化剤（プラントアクティベーター）の一種であるアシベンゾラル S-メチル（ASM）の植物ウイルスに対する効果について、ウイルスの感染動態とともに明らかにしたものである。緑色蛍光タンパク質発現ウイルスを感染させた植物の凍結切片の観察により、ASMが植物ウイルスの重要な感染段階である長距離移行を抑制することを明らかにするとともに、その作用点が接種葉における維管束への積み込み（loading）の段階にあることを明らかにした。さらにこの一連の研究の過程で、園芸植物に重大な被害を及ぼすオオバコモザイクウイルスの植物における感染動態の詳細を明らかにすることができた。以上の研究成果は、植物病理学のみならず農学、生物学において重要な知見であり、植物保護などの応用面に寄与するものである。

この成果の一部は、Virus Research 誌 1 編に公表された。また本成果の発表により、日本植物病理学会関東部会の学生優秀発表賞を受賞している。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。